「除月組」第三種郵便物認可　[illegible]第634号　磐城日日　昭和28年（1953年）11月25日（水曜日）　第987号

磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚過51
電話代表387番
編輯兼發行人　長瀬護一

冷害対策實踐の歩み
救農土木事業 具体案成る
廿六日 関係機関代表會議

石城・平方部冷害對策本部では去る十九日地方事務所に總會を開き、冷害救農対策の大綱について協議を重ねたが更に二十六日午前十時半から地方事務所会議室に救農土木事業の請願打合せ会を次の人々の出席を求めて開く事になった

石城地方事務所、平・植田兩土木監督所長、平土地改良事務所長、平失業対策事務所長、平職業安定所長、平・植田營林所長、町村会正副會長、議長会正副会長、冷害對策本部事務局

この救農土木事業は冷害による農家收入、殊に二・三男などを対象に土木事業を起こし、これによって農家の現金収入を圖ろうとするもので石城郡下では現在三千五百万圓の予算で次の事業が計畫されている

▽新潟―平線二級國道工事を五百万で整備する

▽平―小名浜（鹿島經由）の縣道工事に五百万円を計上、幅員三十米に擴張整理して新潟―平線に直結、二級國道への昇格に備える

▽新川河ざらいを千二百五十万の予算で行い平市内の下水道排水、新川の淨化を圖る

▽夏井川堤防工事を一千万円の豫算で施行、例年雨季毎に破壞される夏井川の堤防は既に決潰寸前の危險狀態にありこれの補强を圖る

▽その他田人村では植林事業、農道工事、菊多方部では鮫川の堤防工事など各町村でも数多くの救農土木事業の計画が樹てられている

打合せ会ではこれら救農土木事業を綜合的に冷害程度に應じて檢討を加え石城対策本部案を樹立その實現について强力に縣に對して請願陳情を展開することになる

冷害対策の中間報告

石城町村会定例会は廿八日地方事務所會議室に開催冷害対策の中間報告などが行われる

記者
見習記者　若干名
業務社員　〃
年令不問
學歴御送附
面会日通知
磐城日日新聞社人事課

朝禮台新設 磐農高校
PTAなど奉仕協力

磐城農業高等學校上遠野農業部（部長高久忠雄氏）のグランド擴張工事及び朝禮台の新設は同村教育委員會（会長蛭田五六氏、PTAなど全村民あげて、吾が村の榮譽のために立派な学校施設を充實しようと一人三日の勤労奉仕作業で連日汗を流していたがこの程その結晶ですっかり完成したこのため生徒達を初め高久部長、全職員先生等は大変喜んでいる

なお朝禮台は入遠野村へ村長平子太門氏、同校PTA（会長大野氏）等が協力して予算約八万圓で建設したもので小中学校などには見られぬ立派なものである

高久部長談

引續き第二工事（特別教室の促進を荒川村長、大野PTA会長、關係町村長のお骨折りを頂いて早急に施工してほしいと猛運動を行っています、との第二期工事には本校（植田）の高橋校長先生も相當に熱を入れて拍車をかけてくれますし、近日中には着工される見込みです、兎に角關係有士の理解ある協力を期待して止みません

郡下四Hク役員会

郡下四Hク役員会は廿七日午前九時から地方事務所に開かれ

△二十八年度大会開催の件

△福島に於ける実績發表大会の件

等につき協議する

二次案呑むか
水素越年資金職場大会

先に越年資金として總額四千四百万圓、一人平均二万六千四百圓支給の会社回答を得た日本水素勞仂組合は要求額三万三千円獲得を目標に會社回答を不滿とし更に經營協議会開催を会社側に要求、二十三日午後四時から同六時半迄交渉を行った結果、会社側は第二次回答として第一次回答に二百万圓増加して總額四千六百万円、一人平均二万六千八百三十六円案を提示した

組合側はこの第二次回答に對し二十四日午前九時から中央委員会を開き態度確立へ協議した結果二十五日午後から各職場大会を開き、呑むか呑まぬかを檢討二十五日更に中央委員会を開いて最終的態度を決定することになった

組合幹部は三万三千円の要求金額獲得を强硬に主張しているが大勢は受諾の氣運にあり二十五日の中央委員会で大會を開催するに至らず円滿解決するのではないかと見られている

社会人クラブ例會
活發な討議

小名浜社会人クラブ十一月例会は廿三日午後七時から不二振興KKに開催「現代政治の貧困」という名の主題と取ッ組んで吉田政治の盲点を衝き大竹縣政の回顧に改選期前の總決算的検討を加えたのち、お膝元の小名浜町政批判に知的メスを奮い、道中会長亮、洋三両醫師先生、六郎書記官長など種々建設的意見を提出最近にない活潑な例會として並いる参会員一同大いに奮起するところあって、十一時十二分散会したが、次回からは今次の成功に鑑み常に例会通知と共に主題一を擧げ、他は参会員の当日提案による討議事項を臨機に取り上げ今度のような活潑な例會を續けたいとハリキッている

錦町の新民生委員決る

錦町ではこのほど民生委員推選委員會を開いた結果次の諸氏を新委員として推選した

山形ナツ（大倉）赤津キン（大倉）鷲清一（大倉）赤津タネ（中田）鴨清次郎（中田）大平留松（中田）赤津ヤラ（中田）星富太郎（江栗）小野慶一（江栗）

福島縣下辯論大會
新聞は私達のもの
磐農高　秋山カホル

皆さん「人民の人民による人民のための政治」と云うのは、リンカーンが民主政治について云った名高い言葉です、私は今こゝで民主社会の生活に一日も欠くことの出來ない新聞のために「人民の新聞」人民による人民のための新聞」と云う言葉を作ってみたいと思います

皆さんは毎日の新聞をどのようにながめていらっしゃいますか、論説やニュースと政府の特別な力がはたらいていたり、ある一つの政黨の宣傳をやっていたりするようなことはないでしょうか、政府や政黨の御用新聞は人民のための新聞ではありません

「人民のための新聞」は常に人民のものとして、人民の手で作られ、いつも眞實ありのままのニュースを傳えるものであります、そして論説では一般民衆の考えを代表した意見が公明正大に發表されなければなりません、同時にまた一般民衆の中から正当な方法で意見を發表しようとするものがあれば、どんな意見に對しても發表の機會を公平に與え、どの意見が正しいかと言う判斷は民衆全体の考えにまかせて、本当の意味での輿論を作り上げて行くのが新聞の大切な役目であります

皆さんは御存知ないでしょうか、あのいまわしい大平洋戰爭の頃、当時の軍閥政府は新聞に嚴重な統制を行って、眞実ありのままのニュースは、ほとんど傳えさせず發表される意見はいつも政府の意見でした、当時の新聞は「政府の政府による政府のための新聞」だったのです、あわれにも日本の一般民衆は、大切な目を奪われ、口を奪われ、めくらにされて、あのむごたらしい戰爭をつづけ日本の國を今のような國に零落させてしまったのです、しかもこの場合、日本國民の大部分は、新聞に對する理解が不足で無關心で、自分達がめくらにされていることも、オシとされていることも一切氣がつかなかったのです、なんと言う愚かなそしてみじめな國民だったことでしょう

私達は平和な日本の國、幸福な日本の國を築きあげ、これをしっかり護りつづけるためと、自分たちの目であり、口である毎日の新聞に深い理解と關心を持たなければなりません

大平洋戰爭当時の一般民衆が演じた愚かさ、みじめさを私達は再びくり返してはならないのです

皆さん私はもう一度皆さんにおたづねいたします

錦公營住宅
指名入札者

錦町公営住宅敷地買收問題も呉羽化成KKの新設工場敷地問題もからんでいたため高木町長、山崎議長等全町會議員など相當な困難の中に土地問題交渉を進めていたがこの程町民の理解と關係有士の熱ある努力の結晶の実を結びいよいよ着工の運びとなり二十五日午後一時より町役場会議室に於いてその入札を行うことになった

入札する公營住宅は同町大倉綾の内地内に五戸建坪九坪、同中田釋迦堂地内に建坪十一坪、同中田觀ガ町地内に鐵筋コンクリートの特耐アパート一棟（八世帯）である

指名入札者氏名次の通り

▽アパート

錦興業株式会社、金成土建KK、高木組、勝呂組、高橋組、星土建工業所の六氏

▽一般住宅

大平組、出戸組、平土地建株式会社、金成土建株式会社、星工業所、高橋組、勝呂組、高木組、成瀬組の十氏である

天氣豫報 25

「本日」西一時南の風晴れたり曇ったり午後から雲がひろがりましょう

魚菜市況 24

「小名浜中央青果市場」卵一一、五～一二三、五丸大根一六～三五ねぎ一〇〇～一二五ごぼお一六〇～一六八里いも六〇～七〇人じん七〇～九〇さつま三五～六〇ほうれん草一三〇～一四〇

創業満三十周年記念謝恩大賣出し　26日―28日・3日間

	普通價額		賣出價額
規格別毛布	200圓の品を	…	150圓に
キヤラコ割烹着	250圓	〃 …	150圓
五號裏地綿	260圓	〃 …	230圓
〃 本染手拭	300圓	〃 …	230圓
スフ着尺一反	390圓	〃 …	280圓
捺染綿ネルヤール	125圓	〃 …	90圓
別珍大人タビ	100圓	〃 …	60圓
純綿大人タビ	100圓	〃 …	60圓

	普通價額		賣出價額
東一サラシ	260圓の品を	…	195圓に
大人裏毛メリヤス	270圓	〃 …	175圓
純綿地縞貫五附	320圓	〃 …	220圓
〃 四附	300圓	〃 …	200圓
綿夜具地貫五附	340圓	〃 …	250圓
綿三巾風呂敷	90圓	〃 …	60圓
双絲別珍オープンシヤツ	1,650圓	〃 …	800圓

記念賣出し品の一例

祝 七五三用品 御婚禮用品
各種豊富に取揃え御客様各位に特別待遇申上げます。

東西一流品
旗印たび

御挨拶
此の度小店も開店以来滿三十周年を迎える事に相成りました。これ偏に皆々様の常に変らざる御愛顧御引立の賜と一同感謝致して居ります。小店の謝恩賣出しに当り奉仕品の破額品は何れも小店の營業方針の一つである『價額より品質と』との点充分に考慮し寒さに向い一般消費者向きの良品を……取引問屋方々の犧牲的奉仕を頂いて右の様な催しを出來た次第で御座います。賣出しに当り一言御挨拶申上げます。
株式会社さんかんや
代表取締役　鈴木春夫

株式会社　さんかんや
小名浜町中島
電話462番

本社主催 石城地區珠算競技大會

中学は熊田さん一位 小学一位湯本若松君

小名一小に參加十七校

本社主催平石城地區第一回中小學校珠算競技大会は小名浜公民館後援のもと二十三日午前九時から小名浜第一小學校講堂で開催、平市を始め郡下中小学校十七校代表選手百六十名が參加出席して盛大に挙行された

この日大会は先ず梅野編集長の開会の辭につぎ、長瀬社長滿三周年記念行事として過般實施した法律無料相談所の開設等一環記念行事と共に文教面行事の一つとして珠算競技大会を開催するに至つた主旨と經過を述べて挨拶とし

第一回大会運營委員長高木長年先生（一小校長）の大会開催の意義に關しての挨拶の後、競技委員長平野公誠學館長の競技運營上の諸注意があつて、小学生見取算により愈よ競技の火蓋を切つた

かくて加減乘除見取算をはじめ降り落し讀み上げ加算に熱戦を展開、一方中学生競技もこれに準じて併行的に交互に進捗、機関銃的稱號唱算による四桁加へ算の妙技を最後におの〱次の如く入賞者が決定、長瀬社長によりそれ〲賞品賞狀並びに參加全員に參加賞が授與された

▼中學の部

一等　熊田道子（小名一中）二等…馬上ハツ子（小名一中）三等…江尻ケイ子（小名二中）四等…伊藤ブチ子（小名二中）五等…小菅和夫（小名一中）六等…長谷川マサ子（小名一中）七等…松本美代子（小名一中）八等…吉原修（小名一中）九等…金成愛（江名中）十等…阿相辰三郎（平一中）殘念賞…森下民子（平一中）

▼小学生の部

一等…若松宏幸（湯本一小）二等…熊田好子（小名二小）三等…鈴木久江（小名一小）四等…小松みよ子（小名二小）五等…庄司榮子（湯本一小）六等…川中宏（植田小）七等…星野實（小名二小）八等…今村福子（植田小）九等…加澤惠美子（小名二小）十等…野崎弓（小名一小）殘念賞…佐藤榮子（植田小）

群立の縣議補選

自黨二區では推薦争い

二十四日知事選擧と同時に行われる縣議補選候補推薦問題を巡り三區戰野に自黨の抗争が傳えられている——即ち前縣議木田森之助氏を推薦しようとする議内正一現代議士派と、新人候補として陸協連理事鈴木喜政氏（植田）を強引に押し出すとによつて、縣議會自黨の若返り補強を試みようとする運沼龍輔縣議長派の公認に關する推薦競争で、何れも强硬に自説を固執しておるといわれ、一方革新陣營では、右社常磐組合長齋藤茂男氏、社会黨（左派）本間古川好間組合長の線が推薦決定される模様であるが、このような混亂する群立候補陣の中で鷲文治氏（町村議長會議長）の登場も話題にのぼつている

海を渡る郷土物産

平で中日貿易促進懇談會

中日貿易促進石城地區懇談會は二十四日午後五時から關係者二十数氏が出席して平市マルトモホールで開かれた

同懇談会は木工品、木造船、肥料、海産加工品、農産加工品など郷土物産を廣く中國に紹介して輸出の途を開拓し、郷土産業の開發振興を圖ろうとするものでようやく斯界の注目を集めて來たしい茸、こんにやくなど農産品、を始めみりん干、金し銀し（さめひれ）など海産加工品は更に工夫を加えて輸出向きに加工しこれを中國に輸出しようと企画、みりん干の日東物産安川市郎氏は常磐みりん干の販路を海を渡つてその名を海外に發展させようと張切つており、サステンなど防腐剤の研究使用、加工方法の研究によつて鮮度保持時間の延長に成功すればみりん干小名浜のレッテルが海を渡る日も遠くないと大きな希望になつている

ラヂオ技術講習会

石城産教振興会

石城産業教育振興会（會長野崎滿藏氏）平工業高等学校では共催で測量及びラヂオ技術の講習会を二十九日と十二月六日の兩日午前九時から午後三時迄平工高講堂することになつた

受講希望者は二十七日迄受講料五十円を添えて平工高講習会係宛申込むことになつている

小名濱は十五日夜

知事立会演説

縣選擧管理委員会（委員長丹野正人）では來る十二月二十四日と決定された縣知事選擧の立会演説会日程計畫を次の通り決定した（石城方部）

▽十五日晝＝湯本町▽同夜＝小名浜町▽十六日晝＝植田町▽同夜＝平市▽十七日晝＝富岡町▽同夜＝浪江町

縣知事選擧は十一月二十八日告示、四日立会演説會場告示、八日立会演説開始、二十二日同終了、二十四日投票と云う日程になる

皿繪展覧会終る

平チャーチル

磐女高中西教諭をはじめ郡下中小学校圖畫擔當教師たちで組織されている平チャーチル会は、廿二、三兩日の連休日を利用して平マルトモホールで皿繪展覧會を開いたが秘藏の皿繪四十余点の出品に美術ファンや一般繪畫愛好者を樂しませて成功裡に終了した

渡邊勿來助役表彰さる

納税功勞者で

勿來町九面勿來町助役渡邊禮五郎氏（四四）はこの程郡下の優良納税者として郡南菊多方部でただ一人その功勞者として晴れの表彰を授与した

小名浜海岸殉職警察官の慰霊祭

本夏小名浜海岸で救助訓練中殉職した齋藤、松本兩警察官の慰霊祭が勤勞感謝の日を期し福島武徳殿礦圏場で盛大に執行された

農村改革の烽火

川部村部落が定休日制

川部村大字沼部青年会（会長芳賀光氏）では生活改善の一端として勞働時間の合理化を圖り毎月一日と十五日の二日を農止（のどめ）と決め、この日は全農民が一斎に休養農民のための樂しいレクリエーションを持つことになつたため同部落の全村民は各自各自の樂しいプランを企て明日への増産に拍車をかけている

またこの（農林）のおきてを破つて作業に從事するものがあれば、罰則として清酒一升を買い全部落民に詫びることになつている　（秋　五月は自由）

芳賀会長談

生活改善が盛んに叫ばれている今日、農村の生活狀態は余りにも非進歩的で暗い、このままで行けば將來の農村の經済と農民の向上は絶對に有り得ない、冠婚葬祭の改善も大いに必要と考へているが、先づ時間を無駄に使い過ぎる農村にとつてはこの時間勵行の實践がもつとも合理的だと信じ、毎月一日、十五日の兩日を農止（のどめ）として農民のための休養と教養を高めたい民主化された現代日本にはもつとも文化的なそして合理的な農村經營だと信じている

縣下幼兒教育研究大会

廿四日湯本で

縣下幼兒教育研究大会は廿四日湯本公民館で開催され、幼稚園關係者二百余名が出席して幼兒教育振興策について討議したほか、長谷川朝子教諭（福島幼稚園）が「幼兒教育に關する一考察」と題して多年の研究と体験結果を發表した

冬の雑布はお湯で

一小にボイラー

小名浜町第一小學校では七万五千圓で巴式G型ボイラーを設置する事になり先頃から工事を進めて來たが今月末迄には完成する事になつた

このボイラーが完成すると從來兒童の手を痛々しく霜やけにしていた室内掃除も温かい水で出來る事になり、今年の冬は冷たい思いをしなくても濟むと子供達は喜んでいる

平でオート三輪衝突

藥店に暴込む

廿三日午後十時ごろ平市二丁目堀藥局前で、市内大町榮堂オート三輪（小林勝次運転）と鷹戸味噌（駒場伸一無免許）三輪が衝突堀藥店に暴れ込んで店頭を破損した

防犯少年野球大会

優勝

女子ソフト江名中 野球は小名一中に

小學ソフト鹿島惜敗

小名浜地区署防犯協力会、中學校第二支会主催防犯少年野球大會は二十二日と翌二十三日の兩日に亘り管内參加中小校十校が小名浜一中、一小兩校庭に參會、親睦と競技に母校の誇りを賭けて善戦し一石二鳥の成果を修めて次のように優勝が決定した

▽中学野球

泉中小名二中を下した一中と鹿島中に快勝一學優勝をねらった江名中の果敢な健斗に最後まで予斷出來なかつた好試合も三對一で小名一中に凱歌

▽中学女子ソフト

男子野球優勝に同權維持の名譽をかけた小名一中と、浜通り女子ソフト界の雄江名中の決勝戦となり、一中女子軍頑張りすぎて四対一で惜敗

▽小学ソフト

鹿島小学球團、金成校長の應援に奮起したが小名浜二小の健陣揺るがず九A四で惜敗

賣宅地　六〇坪
場所　愛宕下　第二小學校附近
姓名在社

25日ヨリ27日マデ
同時上映
昂奮を呼ぶ二本立
狙われた驛馬車　西部劇の最高のヒット作
神變あばれ笠　解決篇　いよ〱待望の后篇
28日ヨリ片目の魔王と太平洋の鷲　タイロン・パワスザン・ヘイワード
小名浜　キンピ館　電六七〇

昭和29年度
模様入　年賀狀　用紙入荷
御報次第見本携行御伺いいたします
小名浜町　長瀬印刷所　電話219—387

◉賣家
宅地　五拾貳坪
家屋　參拾五坪（二階建）
場所　横町本通り
◇他に格安分譲地多数有ります
小名浜町字古港一九三
小野幸次郎事務所

經費をかけずに良い品安く
寒さの御用意
冬服地ネルカセン純毛特價
夜具地と裏地フトンの手入
カネボウ毛糸　2000円
松月足袋別珍特製160円
豆別珍55円大人100円
純毛コットン1500円より
セータカーデガントツクリ
裏毛メリヤスはオリエント
学生服セーラ服學帽カバン
化粧品柳屋メヌマ ジユジユ・ウテナ　80円
今評判の『ちどり綿』
極上一貫匁千七百五十円
白一級品千三百円
赤一級品千円
皆様の店　平マーケット
小名浜第二小学校前　電二九七
チケット歡迎